緑っ子だより

校訓／教育目標
かしこく　やさしく　たくましく
豊かな心とたくましさをもち
夢に向かって伸びる緑っ子の育成

宇土市立緑川小学校
平成30年9月28日号
文責　谷口育聖

これからの学びのキーワード

『学び』とは何かに気づき自分が変わること

これまで私を含め多くの教師は、子どもたちに何を教えようか、どんな教育技術がより理解しやすいだろうかということばかりに時間をかけていたようです。それはそれで重要なことですが、中には自分がここまで指導したのだから、理解できて当たり前、できないのは教えられる側の努力不足と、あたかも子どもの責任であるかのような意識の教師がいたことも事実です。しかし、それでは主体性に乏しく自ら学ぼうとする姿勢のない子どもに育ちやすいということが指摘されてきました。

今、学校では平成32年度から施行される学習指導要領の実施に向けての移行期間です。従って、新学習指導要領の内容を研修しながら、一部先行実施をしています。新指導要領には、新たな教育観が登場します。その代表的なものを1つ紹介します。

『主体的・対話的で深い学び』

新たな学びのキーワードの1つです。端的にいうと、子どもたちが自らの学習をコントロール（見通しや振り返り等学習のプロセスをつかむ）しながら、対話を重視し新たな知識・技能を習得するために、教科の「見方・考え方」を働かせて学びを実現することです。そのために教師は、何ができるようになるのか、何を学ぶのか、どのように学ぶのかなど、子どもの立場に立って授業を組み立てていきます。そして、何が身についたかをしっかり評価し、指導の改善へ結びつけていきます。実現のための大きな支えがご家庭及び地域の皆さんの学校教育への参画です。今後さらに地域と協働した教育活動が増えてきます。今後ともよろしくお願いします。

授業風景

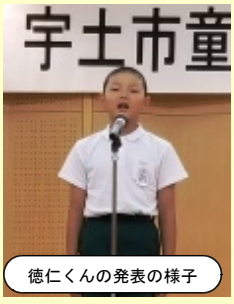
９月２６日（水）の校内研修（教職員の勉強の場）では６年生の国語の授業（「海のいのち」）を通して子どもたちの『学び』を検証していきました。熊本県教育センターから指導主事をお招きして、多くのご指導、ご示唆をいただきました。子どもたちが話し合う様子や発表する様子、意見をぶつける様子に子どもたちの学びの深化が見られると褒めていただきました。一方で、学習のプロセスや個に応じた支援面での課題もはっきりした貴重な時間でした。

10月行事予定

１日(月)	交通指導日
２日(火)	全校集会
４日(木)	宇土市陸上記録会
９日(火)	児童集会　クラブ活動
11日(木)	科学展・発明工夫展
12日(金)	社会見学旅行
13日(土)	人権子ども集会
15日(月)	ノーメディアデー
17日(水)	宇城教育事務所学校訪問
18日(木)	校内絵画大会
26日(金)	宇城小体連陸上記録会
30日(火)	全校集会　委員会活動
31日(水)	登校班長会

宇土市童話発表会　９月３日(日)開催

宇土市民会館大会議室で行われた童話発表会。学校代表の３年生の三輪うららさんが「したきりすずめ」、５年生の竹下徳仁くんが「ソメコとオニ」を堂々と発表してくれました。夏休みをはさんでの発表でしたが、校内発表よりさらに表現力が増してとてもよかったです。おしいところで宇土市代表を逃しました。



徳仁くんの発表の様子

宇土市陸上記録会

１０月５日(金)、宇土市運動公園で開催される陸上記録会の練習が始まっています。すでに練習計画をお伝えしているところです。出場は５，６年生全員ですが、来年度のため、また、体力向上のため３，４年生も練習に参加しています。

通学合宿に参加して　9月2日(日)～5日(水)3泊4日緑川公民館

褒められた聞く態度

家族と離れ、友達や地域の方と生活をする緑川地区の通学合宿は今回で11回目。地域のボランティアの方々は経験が豊富で、準備段階から計画的に進められていました。

私は、日曜日の午後2時に始まった開講式、その日の夕食、3日(月)の朝食に参加させていただきました。今回は、初めての企画として、地域からの『もらい湯』があったそうです。

子どもたちは、日に日に活動に余裕が見られ、買い物、掃除、料理、後片付けなどすべてにおいて上手くなっていました。日頃やっていないことでも、このような機会にグループで活動し、その中で一人一人に役割が分担されると責任感が増すのでしょう。そして、それが周りから認められ褒められると自信につながり、自己肯定感になっていきます。とても良い経験ができた4日間でした。参加した子どもたちの感想文を見ると、全員がこの合宿がとても楽しかったと書いていました。いくつか紹介します。

「家でお母さんのやっていることがどのくらいきついのかが分かりました。料理やせんたくなどをやるのがきついのかがよくわかったので、これから手伝っていきたいと思います。」(6年男子)

「合宿で家族のことを考えたりしたときもあって少しさみしさもあったけど、友達と一緒に料理したりねたりするのは楽しかったです。料理がうまくなれるようにがんばります。」(6年女子)

松下実行委員長、松本公民館館長をはじめ地域のボランティアの方々には本当にお世話になりました。大事な子どもさんを預かっているということで、気が抜けない毎日だったと思います。

一方で、「口は出すが、手は出さない！」というコンセプトで、忍耐強く子どもたちを見守っていただいたことにも深く感謝申し上げます。

緑川地区敬老会　９月１７日(月) 敬老の日

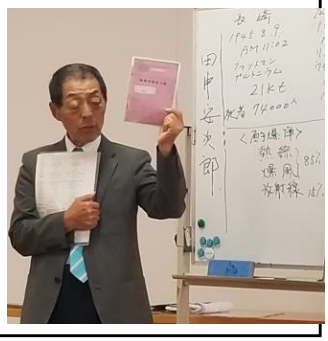
宮田優さんの発表

本校体育館を会場として、敬老会が盛大に開催されました。本校卒業後６０年以上たった方ばかりで、皆さんお元気でいらっしゃいました。校区には４７０人を超す７５歳以上の方がお住みになっており、そのうち１７０名ほどの参加となりました。式典では、本校６年生の宮田優さんが「いじめはなぜおこるのだろう」と題して発表してくれました。金婚カップルへの花束贈呈にも手伝っていました。

式典の後、中島さん（本校学校運営協議会委員）の迫力と伸びのある歌声が会場を魅了した後、**緑川学童クラブの歌（うたえバンバン）とメッセージ**がありました。会場の皆さんはしっかり耳を傾けていました。その後、『帰らんちゃあよか』を作曲した歌手関島秀樹さんのミニコンサートがあるなど、楽しく心にしみるものばかりでした。

私も参加させていただきました。今村会長をはじめ主催者・関係者の方々には大変お世話になりました。

修学旅行に同行して



雨の確率が極めて高い中、なぜか雨雲は子どもたちが活動する場所を避けるかの如く上空高く去っていき、二日とも快適に活動ができ、実りのある学びが実現できたようです。

初日の平和学習での本当に真剣な眼差し、平和を身をもって伝えようとする田中安二郎氏の思いを強く受けとけることができたようでした。二日目のハウステンボスでは、時間いっぱい思いっきり楽しんでいました。トラブルがあった班でも、自分たちで解決する逞しい子どもたちでした。